

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	教育用インターネット活用推進事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	笠井 善亮			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校児童生徒	意図	インターネットの活用を推進し情報活用能力の育成を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校にコンピュータやインターネットを整備し、学習等で活用できるようにする。 インターネット常時接続費用。 社会の変化に対応した学校教育の推進。 			
事業開始から現在までの状況変化	平成13年度に全校のインターネット接続を完了し、現在はCATV(下り最大30Mbps)もしくは光ファイバー(下り最大100Mbps)でインターネットに結ばれている。本事業により、児童生徒及び教師が、インターネット接続ができるような環境が実現した。また、校長間でのメールや保護者向けの学校メールが可能となり、学校間や地域の連携強化に役立っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式(成果指標の場合)
	①	学校ホームページ公開	23	25	25	校	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

インターネット環境が整備されることで、ICT教育の推進及び、情報の発信・収集等での活用が図られている。

目的に対する現状(客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況)

ICT新改革戦略にある情報活用能力の育成、情報モラル教育を進めるためには、インターネットの常時接続環境は必要不可欠である。

事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,719,918	2,876,344	2,699,946
事業費(b)(円)	1,683,418	1,746,844	1,670,196
うち一般財源	1,683,418	1,746,844	1,670,196
職員給与費(c)(円)	1,036,500	1,129,500	1,029,750
人役・職員(人)	0.15	0.15	0.15
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)(建設又は取得年度のみ記入)			
想定耐用年数(年)(建設又は取得年度のみ記入)			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	市内全小中学校のインターネット常時接続環境を継続し、情報活用能力だけではなく、尚一層情報モラル教育を進める。	③取組の課題	利用環境改善のために、光ファイバー化する必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	より一層の学習環境充実のために、インターネット常時接続環境を継続した。また、メール環境を整備した。	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> インターネット接続環境を継続して維持していく。 電話回線から光ファイバー化を進める。